

読み書き障害の理解と支援

～合理的配慮を行うために知っておいてほしいこと～

皆さんは「平林ルミのテクノロジーノート」というサイトをご存じでしょうか。平林先生はこのサイトで、スマホ・タブレットといった身の回りにあるテクノロジーを使って、様々な障害のある子どもの生活や学習に役立つ情報を発信されています。また、先生は DO-IT Japan というプログラムにも長くかかわってこられ、様々な障害のある子どもたちとの直接のふれあいの中で、子どもたちがテクノロジーを使ってできることに気づき、できることを増やそうとする活動にもエネルギーに取組んでおられます。

現在は、合理的配慮として様々な方法が提案され、テクノロジーも開発されてきました。しかし、その合理的配慮は本当にその子どもにあったものなのか、障害のある子どもや人が希望する合理的配慮を学校や社会は受け入れてくれるのか、あるいは、周囲は合理的配慮を行おうとしているのに、当事者が「みんなと違うことはできない…」と二の足を踏んでいないか、など、まだまだ課題は解決されていないものが多い状況にあると思われます。この講演会では、平林先生の豊富なご経験から、子どものできることを増やすテクノロジーのご紹介だけでなく、使っていけるようになるために知っておきたいことを教えていただきます。

日時： 2019年5月25日(土) 13:30～16:30(受付開始:13:00)

会場： 大阪医科大学 北キャンパス 看護学部講堂 定員：200名

対象： 教員、発達障害に関わる指導者、言語聴覚士、保護者など

講師 平林 ルミ 先生 (東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 特任助教)

平林先生は、6月に講演していただく河野俊寛先生とともに読み書きの困難に関する検査「URAWSS」を作成されました。先生のご専門は、特別支援教育、特に学習に困難のある人にテクノロジー(技術)を用いた学習保障・環境調整、読み書きの評価と指導法の開発です。夏休みに東大で開催される「DO-IT Japan」ではディレクターの近藤武夫先生と共にご活躍です。

先生が開設されている HP「平林ルミのテクノロジーノート」では、読み書きの苦手な子どもに役立つアプリなどが紹介されています。

博士(学術)、言語聴覚士、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー

参加費：3,000円 当日現金でお支払下さい。口座振込による入金はできませんのでご了承ください。

申し込み方法：大阪医科大学LDセンターホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html> からお申込みください。

お申込みを受付けますと、ldcenter-app@osaka-med.ac.jp より自動配信メールが送られます。メール受信の拒否などを設定されている方は、このメールアドレスを受信できるよう、設定の変更をお願いいたします。尚、お申込み後にキャンセルされる場合は、ldcenter-app@osaka-med.ac.jp にご連絡ください。

申し込み締め切り期日：5月17日

定員を超えたために、ご参加いただけない場合にのみ、センターより連絡いたします。ご参加いただける場合にはこちらから連絡をすることはありませんので、そのままお越しください。この講演に参加される SENS 資格保持者には、資格更新ポイントが1ポイント取得できるよう、特別支援教育士資格認定協会に申請いたします。ポイント希望の方は当日、SENS 資格証をお持ちください。大阪医科大学LDセンターホームページ <http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html> にて、新情報を提供いたします。

阪急電車をご利用の場合：京都線「高槻市駅」下車徒歩約10分

